化学療法計画書

2026年11月改訂

治療法名	EDP(ETOP/DXR/CDDP)				
コース数		コース			
腫瘍種	副腎がん				
患者名		♂	年齢		
患者ID		生年月日			
部署		主治医	科	医師名	

開始予定日

2024年1月1日

治療内容		Day	1	2	3	4	5	6	7	8	・・・・・・15・・・・・・22・・・・・29・・・
		予定日	1/1								1/29
ドキソルビシン	40 mg/㎡		↓								
シスプラチン	40 mg/㎡				↓	↓					
ベプシド	100 mg/㎡				↓	↓	↓				
グラニセトロン	1 mg		↓								
パロノセトロン	0.75 mg				↓						
アロカリス	235 mg				↓						
デキサート	9.9 mg				↓						
デキサート	6.6 mg		↓	↓		↓					
オランザピン	5 mg				↓	↓	↓	↓			
デカドロン	8 mg						↓	↓	↓		
ペグフィルグラスチム	3.6 mg						↓				

治療開始日	年 月 日	治療間隔	4週毎	予定コース	コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m2
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	50 mL/min		

投与開始基準

- WBC>3,000, かつ好中球>2,000
- Plt>100,000
- 発熱なし
- PS 0-2
- AST/ALT≦100, T-Bil≦1.5
- Cr≦1.2

Day 1

1)グラニセトロン 1mg / デキサート 6.6mg 30分
↓
2)生理食塩液 50mL / ドキソルビシン 57mg ← 2)生理食塩液 50mL ゆっくり自然滴下（ドキソルビシン と同時に）
全開 ↓ 3)と同時に終了させる
↓
3)生理食塩液 100mL 全開

Day 2

1)生理食塩液 50mL / デキサート 6.6mg 30分
↓
2)生理食塩液 500mL / ベプシド 143mg 75分
↓
3)生理食塩液 50mL フラッシュ

Day 3

メイン400mL/hで投与

1)生理食塩液 500mL 75分
↓
3)生理食塩液 総量 400mL / シスプラチン 57mg 60分
↓
5)生理食塩液 500mL / ベプシド 143mg 75分
↓
6)生理食塩液 500mL / KCL 1キット / 硫酸マグネシウム 1A 75分

1)開始直後に
← 2)パロノセトロン 0.75mg / アロカリス 235mg / デキサート 9.9mg 30分

3)終了直後に側注
← 4)ラシックス 1A

Day 4

メイン400mL/hで投与

1)生理食塩液 500mL 75分
↓
3)生理食塩液 総量 400mL / シスプラチン 57mg 60分
↓
5)生理食塩液 500mL / ベプシド 143mg 75分
↓
6)生理食塩液 500mL / KCL 1キット / 硫酸マグネシウム 1A 75分

1)開始直後に
← 2)生理食塩液 50mL / デキサート 6.6mg 30分

3)終了直後に側注
← 4)ラシックス 1A

オランザピンは糖尿病の患者に禁忌
★ｵﾗﾝｻﾞﾋﾟﾝ5mgはday3 の夕から
★ﾃﾞｶﾄﾞﾛﾝはday5の朝から
★体重1kg増加⇒医師に報告（利尿剤の考慮）
★day3からの飲水指導
（イオン飲料1Lを目安、イオン飲料不得手であれば他の水分可）

オペプリム併用